

2018. 10. 31

社説

日韓関係の根幹を揺るがす元徴用工判決

日韓関係の根幹を揺るがす元徴用工判決が進行中。しき事態といわざるを得ない。日本の植民地時代に徴用工として強制労働をさせられたとして韓国人4人が損害賠償を求めた訴訟(最高裁)は新日鉄住金に賠償を命じる判決を言い渡した。

最高裁は2012年に個人の請求権は「消滅していない」との初判断を示し、原告敗訴の二審判決を破棄。ソウル高裁は13年の差し戻し控訴審で、新日鉄住金に賠償金の支払いを命じた。今回の判決は当時の判断を踏襲した。韓国では他の日本企業も相手取

った多数の元徴用工裁判が進行中で、今後は原告勝訴の判決が続く恐れがある。日本企業の資産差し押さえなどに向かうようなら、日韓のビジネスにも大きな打撃を与える。日韓関係の一層の冷え込みは不可避で、最高裁判決がもたらす負の影響は計り知れない。

日韓両国は1965年の国交正常化の際に結んだ請求権協定で、請求権問題は「完全かつ最終的に解決された」と確認した。韓国の歴代政権も対日請求権は認められないとの立場で、盧武鉉政権下では問題解決の責任は韓国政府が負うべきだとの見解をまとめた。

日韓に横たわる「歴史」の重みは考慮せざるを得ないにせよ、両国の歴代政権が地道に積み上げてきた国家間の協定や約束事を軽視し、ほごにするような韓国最高裁の判決は極めて遺憾だ。

韓国国内では、日韓関係への影響を懸念した朴槿恵前大統領の意向で最高裁が元徴用工裁判の審理を長らく先送りした、との疑惑が浮上していた。

ソウル中央地検は先に大法院付属機関の元判事を逮捕した。政権や世論に左右され、司法の判断が揺れた面はなかったのか。

新日鉄住金は「日本政府の対応

中国、貿易戦争で調達先を日本に

・シンペン) 政権が徹底する環境規制に米中貿易戦争が重なった結果、中国が日本産古紙を爆買いしているからだ。

輸出価格が高騰

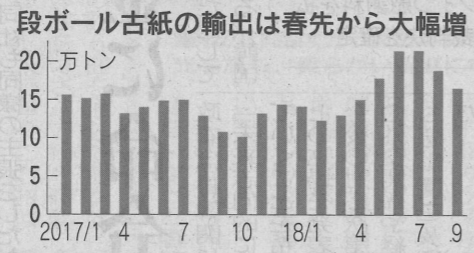
中国の2017年の段ボール原紙生産量は4720万トと日本の約5倍。中国は今年から輸入する古紙に含む不純物の割合を厳しくした。他の「ゴミ」一緒に処分する欧米の古紙に対し、分別習慣のある日本の古紙は品質が高いとされる。

中国は5月、不純物の多い米国の古紙の輸入を事実的に一時禁止。8月には米国の関税発動に對抗し、米国の古紙に25%の報復関税を課した。米

古紙「爆買い」段ボール危機



段ボールが品不足に陥る懸念が広まり始めた(京都府内の段ボール工場)



需要期の冬 物流混乱も

去最高値(27・7円)に抑制。問屋は輸出に奔走肉薄する。好採算な輸出して窮状に耐えた。輸出は当面増えそうだ。

「いまの輸出増が続けば古紙が足りなくなる」。市場では懸念が広がる。関東商組の試算では18年の古紙の回収量1100万ト弱に対し、国内製紙会社の需要量は900万ト弱の見通し。輸出量が200万ト以内で収まればモノは足りる。119月の輸出量は150万トだが、5・9月は月平均で約20万トと前年同期を4割上回るペース。段ボール不足のデッドラインが迫りつつある。

輸出価格に連動して国内価格も上昇した。国内製紙会社は10月に入り、段ボール箱の素材となる原紙価格の引き上げを相次ぎ表明。同時に古紙問屋に輸出を控え国内に回すように要請している。問屋は不満顔だ。18年初に在庫が膨らんだ製紙会社は古紙の買い取りを

抑制。問屋は輸出に奔走肉薄する。好採算な輸出して窮状に耐えた。輸出は当面増えそうだ。

「いまの輸出増が続けば古紙が足りなくなる」。市場では懸念が広がる。関東商組の試算では18年の古紙の回収量1100万ト弱に対し、国内製紙会社の需要量は900万ト弱の見通し。輸出量が200万ト以内で収まればモノは足りる。119月の輸出量は150万トだが、5・9月は月平均で約20万トと前年同期を4割上回るペース。段ボール不足のデッドラインが迫りつつある。

輸出価格に連動して国内価格も上昇した。国内製紙会社は10月に入り、段ボール箱の素材となる原紙価格の引き上げを相次ぎ表明。同時に古紙問屋に輸出を控え国内に回すように要請している。問屋は不満顔だ。18年初に在庫が膨らんだ製紙会社は古紙の買い取りを

真相深層

需要最高見通し

インターネット通販の普及などに伴い国内の段ボール需要は旺盛だ。全国段ボール工業組合連合会(東京・中央)は18年の需要が3年連続で過去最高を更新するとの見通し。ただここにも不安の芽は潜む。段ボール原紙工場の17年の稼働率は93%とフル稼働に近い。再投資が遅れ設備の老朽化も目立つだけに、操業トラブルでも発生すれば供給不足に直結しかねない。

需要家側も品不足の気配を感じ取る。インターネット通販大手は「紙袋などの割合を上げるよう努めている」と打ち明ける。年末商戦を控え、「箱不足」というもう一つの物流クライシスに陥らないか。関係者の表情はさえない。(大鐘進之祐)

交流は盛んで直接的